

北浜法律事務所・外国法共同事業

株式会社三ツ星代理人

弁護士 渡辺 徹 殿

弁護士 中嶋 隆則 殿

弁護士 岡 郁磨 殿

弁護士法人 北浜法律事務所 東京事務所

弁護士 東目 拓也 殿

2022年6月23日

アジアインベストメントファンド株式会社

代表取締役 アンセムウォンシュウセン

回答書

2022年6月17日付けで弊社に送付されたご質問に対して下記のとおり回答いたします。

なお、当社は、御社の2022年6月14日付けの突然の開示を見て、大変困惑しております。当社に対する事前の問い合わせもなく、突然、公開の場で、当社を名指しで「非適格者」と呼んで不利益に取り扱おうとする御社の行動は、上場会社であることを忘れた、極めて問題あるものであると考えています。したがって、速やかに、当社を「非適格者」から外していただき、当社の名誉・信用を毀損するような公開をお止めいただきますようお願い申し上げます。

記

- ① 当社グループの状況につきましては親会社であるアジア開発キャピタル株式会社(証券コード 9318)が EDINET を通して金融庁に当該情報を開示しておりますので有価証券報告書等をご参照下さい。
- ② 当社は御社を含む多数の上場企業株式を低廉に評価されているうちに購入し、投資先企業の企業価値の向上を通じて投資利益を計上するビジネスモデルを展開しています。そこで、本源的な価値が潜在化していて、今後業績を伸ばす見込みの高い銘柄等を選別しております。2021年10月1日から2022年3月31日までの間に株式市場を通して御社の株式を何度か取引をして、2022年3月31日時点において500株を保有することとなりました。
- ③ 2022年5月16日から御社株式の出来高が急増(19,400株)し、御社と株主間に経営権を争う状況が存在していたため、貴社のコーポレート・ガバナンスが活性化することを通じて株式価値の上昇を見込むことができると判断し、2022年5月18日から追加取得し、2022年5月31日時点で19,400株保有となりました。

- ④ 自己資金です。
- ⑤ 今のところ、純投資を保有目的としておりますが、御社の株主総会で議決権を適正に行使用することを通じて、御社の経営を少しでも良くする一助になりたいと考えております。
- ⑥ 当社の意思決定に係る機微の部分であり、本質問に対する回答は差し控えさせていただきます。
- ⑦ 全て一切関係ございません。

以上